



生涯学習センターだより

2017. 10. 31 (火) 10月号 (2017年度第5号：通巻14号) 発行：秋田県生涯学習センター

「人生をささえるもの」

副所長 後藤 武之



ヘンリー・フォードの言葉

菊花のかおる季節となりました。秋の夜長をいかがお過ごしでしょうか。

さて、皆さんご承知のとおり、60歳以上の方が集い、文化やスポーツを通じて交流する「ねりんピック秋田2017」が、9月9日～12日の4日間、県内の17市町村で開催されました。私も本部実行委員として開会式典に関わる機会を得て、全国から集った多くの参加者の方々と交流することができました。

たくさんの方と話をして感じたことは、参加者の各競技や取組に対する「意識の高さ」です。どの参加者も年齢を感じさせず、前向きでさらなる目標を語っていました。

参加者とのふれあいを通じ、何歳になっても心をときめかせるものや夢中になれるものを持ち、継続していくことが大切であること。また、それにより仲間も話題も増え、家庭に明るさをもたらし、健康や生きがいにもつながっていることなど、多くのことを学びました。

北海道選手団の一人で、80代の秋田市出身のソフトボール選手が私に「自分が生きているということは、まだやるべきことが残っているということ。まだまだ老け込んではいられない。ぜひもう一度このねりんピックに出場したい」と語ってくれました。見習いたいものです。

行動人

♥ 行動人についてご紹介します

能代市立浅内小学校で、放課後子ども教室のコーディネーターを努めている石川ひろさんにお話を伺いました。

学校ではなかなかできない体験型の学習やイベントを企画しています。例えば、夏場のブルーベリーの収穫や米代川でのカヌー教室、市の施設を利用したペットボトルロケット作り、ケーキ作りや流しそうめん体験などを行ってきました。

企画で大事にしていることは、「地域の自然・人・文化にふれること」と「季節感」です。子どもたちとのふれあいからもらう喜びが9年間続けてこられた秘訣だと感じています。今、目の前にいる子どもたちの記憶がその子どもや孫の世代まで何かの形でつながっていければという願いがあります。



♠ 自主企画団体の活動を紹介します

今月号は、秋田の自然を学ぶ会のみなさんです



今年度は「幸齢社会の楽しみ」というテーマで、時代を画した名著や偉人の生き方等について、毎月1回、学習会を開いています。講師は、コラムニストの小松寿一氏で、毎回約1時間の講義を行っていただいています。5月から7月は「老いの思想—安西篤子氏—」、9月から10月は「性格研究—木原武一氏—」のテーマで講話を聞きました。10月の「性格の研究2」では、外向型と内向型、直感型と感覚型、感情型と思考型、知覚型と判断型の四側面から歴史上の人物（武田信玄と上杉謙信、明智光秀と石田三成ほか）を取り上げました。ちなみに、信玄が外向・感覚・思考・判断型、謙信が内向・直感・感情・知覚型で正反対のタイプとのこと。この両雄を扱った「天と地と」「風林火山」は、映画もテレビも大変ヒットしましたね。

「あきたスマートカレッジ」 「まるごと三種町」で現地学習を実施しました！



「地域の魅力発信！～おらほの地域自慢～」の最終回となる講座が、10月7日（土）に三種町琴丘地域拠点センター・じよもん（琴丘公民館）を会場に行われました。

三種町は、日本一の生産量を誇る「じゅんさい」、釜谷浜の砂浜で行われている「サンドクラフト」、そして野山などを歩く運動療法に気候の要素を加えた気候性地形療法の「クアオルト」など様々な魅力で地域の活性化に取り組まれています。今回は、座学のほか「クアオルト健康ウォーキング」を実際に体験できるコースに移動しての学習も行いました。

午前の座学では、三種町企画政策課クアオルト推進室の西村直仁係長と、商工観光交流課の牧野誠一課長補佐からお話をいただきました。クアオルトは、「人口減少と高齢化の対策・医療費抑制などのため、町民一人ひとりの健康に対する意識の向上と自主的・継続的な健康づくりの推進のために行っている」とのことでしたが、これは健康寿命の延伸が課題となっている秋田県全体の問題にも関係することであり、町外の多くの方々にもクアオルトを体験していただきたいと感じました。また、受講者一人ひとりにじゅんさいの試食も用意してくださいました。午後の移動学習では、2班に分かれて「琴丘クアの古道コース」を歩きました。単に歩くだけでなく、途中のポイントでは腹式呼吸で大きな声を出したり、心拍数を計測して自分の歩くスピードを調整したりしながら、約90分間のウォーキングを行いました。ガイドの方が手作りされたコース途中の立て看板がユーモアたっぷり、笑顔で歩くことができました。受講者からは「三種町の素晴らしさを知る機会となりました。必ずウォーキングに来たいと思います！」などの感想が寄せられました。



◆ 展示ホール点描

9月26日（火）から10月15日（日）まで、秋田市在住の阿部喜代治さんによる作品展示「写真で綴る県内の四季と祭り」を開催しました。

阿部さんは退職を機に写真に取り組み、県内各地の四季の風景や祭りを題材に数々の作品を撮りためてこられました。今回は、それらの作品を「当センターを訪れる皆さんにご覧いただきたい」とのこと、展示会を開催する運びとなりました。

鳥海町の法体の滝、秋田市河辺の祖谷峡、大仙市大曲の花火、能代市の天空の不夜城ほか、美しくまた風情ある写真が並びました。観覧者の様子を見ますと、子ども連れの方は、男鹿のゴジラ岩の写真を楽しまれたようです。また、花や紅葉など色鮮やかな写真がお気に入りの方もいれば、どの写真も黙って時間をかけて見て折られる方もおいででした。

子どもからシニアの方まで喜ばれた郷土秋田の四季と祭りの写真紹介でした。



「溪流秋色」秋田市河辺 祖谷峡

♣ 講座予告！ — 11月開催予定の講座より —

あきたスマートカレッジ：あきた教養講座

クオリティ・オブ・ライフ ～生物・農業パッケージ～

会場：秋田県生涯学習センター

受講料：1回 420円（児童・生徒・学生は無料）

※2回セットでの受講がおすすめです

11月18日（土）「植物の不思議な力」

13:30～15:00

講師 甲南大学 特別客員教授 田中 修 氏

※NHKラジオ「夏休み子ども科学電話相談」、日本テレビ「世界一受けたい授業」などにも出演された田中先生の講義が、秋田で受講できます！

マイスター

11月25日（土）「野菜作りの巨匠になるための秘訣！

13:30～15:00

～入門書的な知識から美味しい野菜を作る秘訣まで～
講師 秋田県立大学 准教授 吉田 康徳 氏

※寒冷地秋田に適するようなヤマイモ育成で注目の吉田先生から、実践的な野菜作りの方法を学べます。

家庭菜園をおもちの方などに特におすすめです！